

NO. 1 事業名 農地環境整備事業（国補）

箇所・地区名 てんのうはら 天王原

平成26年度 公共事業再評価調書

(区分) 国補 県単

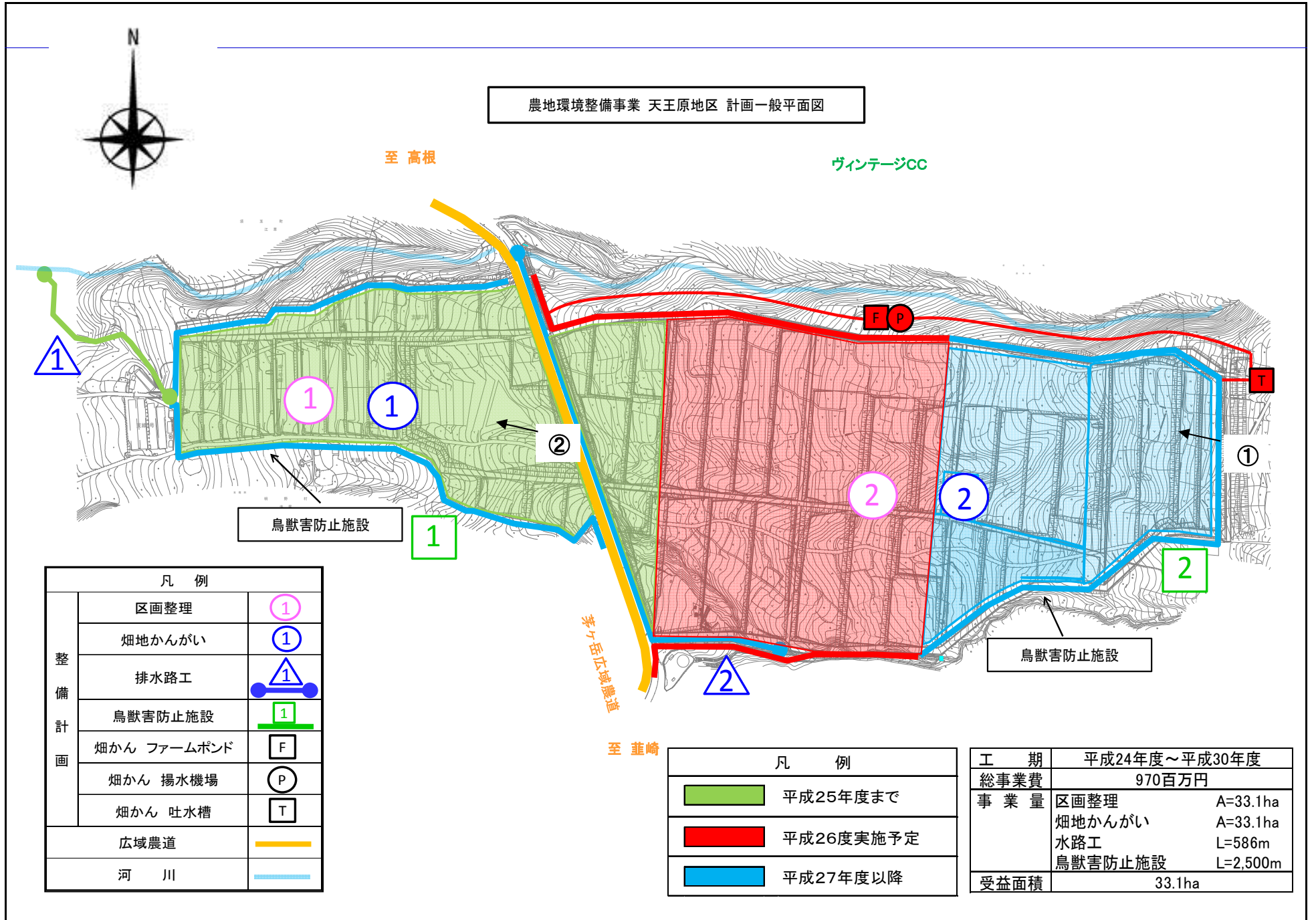
1. 再評価調書

事業名	農地環境整備事業（国補）		事業箇所	北杜市 明野町 浅尾	地区名	天王原	事業主体	山 梨 県
	当初計画	現計画	今回見直し予定		⑤再評価時の評価状況 なし			
計画期間	H24~H30	H24~H30	—					
総事業費	970百万円	—	1,400百万円					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果 本地区は、茅ヶ岳山麓西斜面の地帯に位置し、かつて養蚕を中心とした農業が営まれていた。しかし、養蚕の衰退に伴い農地の維持管理が滞り、桑園が耕作放棄地となっており、有害鳥獣のすみかになるなど悪影響を及ぼしている。 そのため、区画整理等の基盤整備を実施し、耕作放棄地を優良農地に再生するとともに農地集積を促進し、新たな地域農業の展開を図るため、農業生産法人を中心とした大規模経営体の参入を視野に整備を行う計画である。 区画整理工事完成後は、個別農家、大規模経営体が耕作する農業生産団地化が設定され、野菜や醸造用ぶどう等が順次作付けされていく予定である。								
②事業概要 区画整理 A=33.1ha、畑地かんがい A=33.1ha 排水路工 L=586m 鳥獣害防止施設 L=2,500m								
③全体計画								
	平成25年度まで	平成26年度 (評価実施年度)	平成27年度以降		①地域・住民の意向状況 区画整理により整備される大規模経営体団地には、すでに複数の大規模農業生産法人の参入が内定しており、事業推進委員会においても、早期事業完了を望んでいる。 ②産業・経済情勢 なし ③国等の方針変更 なし ④上位計画・関連事業計画等の変更 ・第二期チャレンジ山梨行動計画（平成23年10月策定） ・やまなし農業ルネサンス大綱（平成23年12月改定） ⑤自然環境条件等の変化 耕作放棄地の解消とともに頻りにシカなどの有害獣が出没しており、早期に鳥獣害防止施設の設置を進めていきたい。 ⑥その他 なし			
工事内容	区画整理 A=13ha 排水路工 L=300m	区画整理 A=10ha 畑地かんがい 貯水槽1力所 鳥獣害防止施設 L=1,000m	区画整理 A=10.1ha 畑地かんがい A=33ha 排水路工 L=286m 鳥獣害防止施設 L=1,500m					
事業費	592百万円	300百万円	78百万円					
④特記事項 なし								
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕								
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C（平成24年度） 2,717百万円/1,155百万円=2.35>1.0 再評価時計画における事業全体B/C（平成26年度） 3,272百万円/1,446百万円=2.26>1.0 <p>（「土地改良の経済効果」より算出 採択基準値1.00以上）</p>								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 計画変更等の概要 当初計画において、区画整理の造成工法を現況の地形なりに行う山成工法とし、30aの標準区画としていたが、より営農効率の良い大区画を求める要望があったことから、テラス式工法により50～100aの区画に変更した。これにより、埋蔵文化財の発掘調査も当初は地形を改変せずに盛土箇所の調査は省くこととしていたが、造成工法の変更に伴い調査範囲が拡大したため調査費用が増となる見込みである。 さらに、排水路を1系統としていたが、下流側の断面が大きくなることから、排水形態の見直しにより、分割した排水形態とするため、路線延長を増としたい。 鳥獣害防止施設について、当初は広域農道より山側の農地を囲み、農道を緩衝帯とする計画であったが、広域農道の西側の農地への被害も想定されるため、施工範囲の増として被害を防止したい。 (事業費) 430百万円増</p> <p>②施工済みの事業内容 全体計画のとおり</p> <p>③進捗率</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>*平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>7</td> <td>20</td> <td>40</td> <td>60</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>26.4</td> <td>42.3</td> <td>63.7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>90</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*H26の実績は見込み</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 算出方法 計画事業費／総事業費*100 実績事業費／総事業費*100 </div> <p>④事業の進捗が順調でない理由 該当なし</p>		平成24年度	平成25年度	*平成26年度	平成27年度	平成28年度	計 画	7	20	40	60	80	実 績	26.4	42.3	63.7				平成29年度	平成30年度				計 画	90	100				実 績						<p>⑤今後の事業執行上の問題点 なし</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み 区画整理を先行させ、その後鳥獣害防止施設整備を進める予定であり、平成30年には完了見込みである。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 (事業量・事業費の増) 区画整理造成費の増、排水路及び鳥獣害防止施設の延長増に伴う総事業量、事業費の見直し。</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">区画整理</td> <td style="width:20%;">現計画</td> <td style="width:50%;">30a区画</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見直し</td> <td>50～100a区画</td> </tr> <tr> <td>排水路</td> <td>現計画</td> <td>L=586m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見直し後</td> <td>L=960m</td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止柵</td> <td>現計画</td> <td>L=2,500m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見直し後</td> <td>L=4,400m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>現計画</td> <td>970百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見直し後</td> <td>1,400百万円 (430百万円の増)</td> </tr> </table>	区画整理	現計画	30a区画		見直し	50～100a区画	排水路	現計画	L=586m		見直し後	L=960m	鳥獣害防止柵	現計画	L=2,500m		見直し後	L=4,400m	事業費	現計画	970百万円		見直し後	1,400百万円 (430百万円の増)
	平成24年度	平成25年度	*平成26年度	平成27年度	平成28年度																																																								
計 画	7	20	40	60	80																																																								
実 績	26.4	42.3	63.7																																																										
	平成29年度	平成30年度																																																											
計 画	90	100																																																											
実 績																																																													
区画整理	現計画	30a区画																																																											
	見直し	50～100a区画																																																											
排水路	現計画	L=586m																																																											
	見直し後	L=960m																																																											
鳥獣害防止柵	現計画	L=2,500m																																																											
	見直し後	L=4,400m																																																											
事業費	現計画	970百万円																																																											
	見直し後	1,400百万円 (430百万円の増)																																																											
<p>(5) 評価項目 [環境への配慮]</p> <p>群生してしまった桑などを伐採してチップ化し、区画整理の造成により生じた法面への種子吹付け基材に利用する計画である。</p>																																																													
<p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>畑地かんがいの管路の埋設工において、埋設深を浅埋設にすることによりコストの縮減を図る計画である。</p>																																																													
<p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p> <p>なし</p>																																																													
<p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他 ()</p> <p>(理由) 大規模な野菜や醸造用ぶどう産地の形成が期待され、早期の整備要望も高いことから、事業費を増額し、平成30年度完了を目指す。</p>																																																													

3. 添付資料シート（1）



添付資料シート（2）

① 区画整理

地区内の大部分において、遊休桑園などが耕作放棄地となっている。



② 区画整理

地形勾配がややきつく、地区内を沢の形状をなした地形が縦断する。



整備前



整備後
(イメージ)



区画整理後に順次作付けを開始するため、畑地かんがい施設も併せて整備し、作物の増収・品質向上、防除作業の省力化を図る。



他工事から残土を受け入れて地形を平坦にし、大区画なほ場に造成することにより効率的な営農形態の構築が図られる。

③ 区画整理

従前の小さな農地（黒色）が集積され大区画な農地（赤色）として造成される。



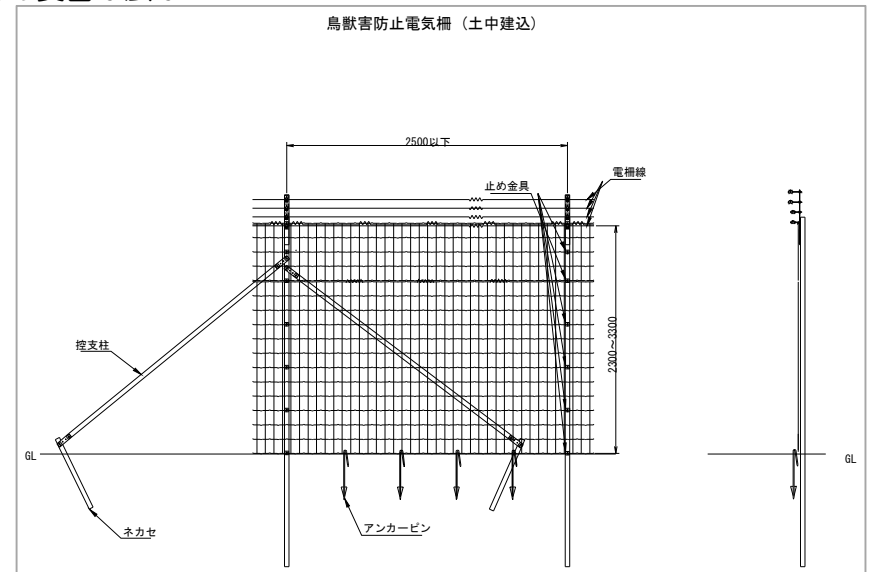
④ 鳥獣害防止柵

サルやイノシシによる被害が発生している。近年は、広域農道下までシカの食害が広がっているため、防止柵を延伸して被害を食い止めたい。



イノシシによる掘り返し跡

シカの足跡 若芽が食い荒らされる



年度別事業費内訳表

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要
H24	370,000	測量設計 1式
H25	222,000	区画整理 A=13.0ha 排水路 L=300m
H26	300,000	区画整理 A=10.0ha 畑地かんがい 貯水槽 鳥獣害防止柵 L=2,000m
H27	200,000	区画整理 A=10.1ha 畑地かんがい 配水線 排水路 L=300m
H28	150,000	畑地かんがい 配水線 排水路 L=360m 鳥獣害防止柵 L=2,400m
H29	100,000	区画整理農道舗装 畑地かんがい 配水線
H30	58,000	区画整理農道舗装 換地処分
合計	1,400,000	